

入学試験・説明会の日程

令和9(2027)年度 入学試験日程

令和9(2027)年度入学試験の日程は下記の通りです。
詳細は、募集要項、本学ホームページなどでお知らせします。

一次募集

- 出願期間: 令和8年7月9日(木) ~7月15日(水)
- 試験日: 令和8年8月21日(金)
- 合格発表: 令和8年9月16日(水)

二次募集

- 出願期間: 令和8年9月24日(木) ~9月30日(水)
- 試験日: 令和8年10月17日(土)
- 合格発表: 令和8年11月17日(火)

三次募集

- 出願期間: 令和8年12月22日(火) ~令和9年1月12日(火)
- 試験日: 令和9年2月6日(土)
- 合格発表: 令和9年2月19日(金)

- 所定の要件を満たす場合、筆記試験(小論文)が免除されます。詳細は募集要項等をご確認ください。
- 3年間または4年間で教員免許状の取得をめざす「教職チャレンジプログラム」希望者は別途出願資格審査があります。詳細は募集要項等をご確認ください。
- 合格者が入学定員を充足した場合、以降の募集は実施しない可能性があります。実施されない場合は、本学教育学部・教育学研究科のホームページなどでお知らせします。

入学試験説明会日程

入学試験説明会では、本教職大学院の特色、カリキュラム、学修生活の実際、入学試験の方法などについて説明するほか、担当教員が直接皆さんの質問に答えます。参加希望回の5日前までに、下記フォームから申込してください。開催日の3日前に、フォームに入力されたメールアドレス宛にZoomの招待メールを配信します。

第1回

- 令和8年5月24日(日)
13:00-15:00

第2回

- 令和8年9月6日(日)
13:00-15:00

- 会場: オンライン (Zoom使用)
- 参加申込: <https://forms.gle/LFFxSn45t9N18UQHA>



本教職大学院に関するその他情報

学修成果報告書題目集一覧

本研究科において最近受理された学修成果報告書題目は下記のとおりです。



<https://www.edu.mie-u.ac.jp/exam/gs-thesis/index.html>



教職大学院NEWS

<https://www.edu.mie-u.ac.jp/outline/gs-introduction/kyousyoku-daigakuin/gse-news.html>

お問い合わせ先

三重大学大学院 教育学研究科

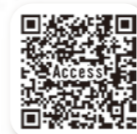
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
E-mail info-mkd@edu.mie-u.ac.jp (入試・広報委員会)

三重大学教育学部・大学院教育学研究科

<https://www.edu.mie-u.ac.jp/>



本学への交通案内



キャンパスマップ



三重大学 教職大学院

大学院教育学研究科教職実践高度化専攻

大学院案内 2027



三重大学大学院教育学研究科で 教育研究を深めませんか



教育学研究科長 宮岡 邦任
<https://www.edu.mie-u.ac.jp/outline/gs-fromdean/index.html>



三重大学教職大学院 教育学研究科教職実践高度化専攻

● 定員25名 ●

各コース・分野の概要

学校経営力開発コース

経営力開発分野

対象：現職教員

地域の教育改革を主導する スクールリーダーの育成

- 学校経営や教育実践に関する高度な専門性を身につけることができます。
- 学校や地域の課題を多角的に広い視野から総合的にとらえるとともに、学術的な理論に基づいて解決の方向性を探究することで、実践力を高めることができます。

学習開発分野

対象：学部新卒者等

多様で複雑な教育課題に 対応できる人材の育成

- 学級づくり、授業づくりなどの教職科目についてより深く学び、教育実践に関する高度な専門性や実践力を身につけた上で教壇に立つことができます。
- 学校現場で得た経験を、学術的な理論に照らして意味づけるだけでなく、その専門分野に限らず幅広い視野からとらえることにより、学修テーマを探究することができます。

教育実践力開発コース

教科教育高度化分野

対象：現職教員・学部新卒者等

高度な教材開発力と授業力を持つ 人材の育成

- 各教科の教育実践に関する高度な専門性を身につけることができます。
- 教科の教育内容と指導法とが有機的に結びついた学修を進め、最新の研究成果に基づいた知識と技能を、教育現場の要求に対応させながら獲得します。

特別支援教育分野

対象：現職教員・学部新卒者等

多様で複雑な教育課題に 対応できる人材の育成

- 特別支援学校の運営や、学校間連携、教育と医療、福祉、労働等との連携に関する高度な専門性を身につけることができます。
- 特別な支援を必要とする幼児児童生徒やその保護者に対して、個人と環境の相互作用の視点に基づいた適切な支援を行うことのできる力を培うとともに多様性を認め合い、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育のあり方について探究することができます。

目的

本教職大学院(三重大学大学院 教育学研究科 教職実践高度化専攻)は、三重県における喫緊の教育課題に取り組むため、学校を変える推進者としてのスクールリーダーとなる現職教員、将来的に地域教育を支えるミドルリーダーとなる資質・力量のある新入教員を養成することを目的とします。

育成をめざす3つの力

マネジメント能力

未来を拓く力

課題発見・解決能力

この3つの力を備えた、スクールリーダー・ミドルリーダーを育成します。

マネジメント能力

組織運営に必要なマネジメント能力のみならず、授業や学級、カリキュラムのマネジメントも含めた幅広いマネジメント能力

課題発見・解決能力

学校や地域にとって「何が本質的に重要な問題か」を見極め、解決していく能力

未来を拓く力

自分自身の行動や思考そのものを客観的に見直すことで、教師としてのアイデンティティを再構築し、自信と意欲、高い志を持って学び続け、教職の未来を切り拓いていく力

アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

学級・学校経営、学習指導方法の開発・改善、生徒指導・教育相談、教育課程、教師教育等における様々な今日的課題の解決、または教科の専門性や特別支援教育、幼児教育の知識・技能の習得による実践的授業力の向上のため、確かな指導理論の構築を目指し、より高度な実践力と応用力を身につけたい人。

現職教員

学校現場での経験に基づき、教職大学院での明確な研修テーマや課題を持ち、それらを協働で解決し、学校や地域において指導的役割(スクールリーダー)を目指す教員。

学部新卒者等

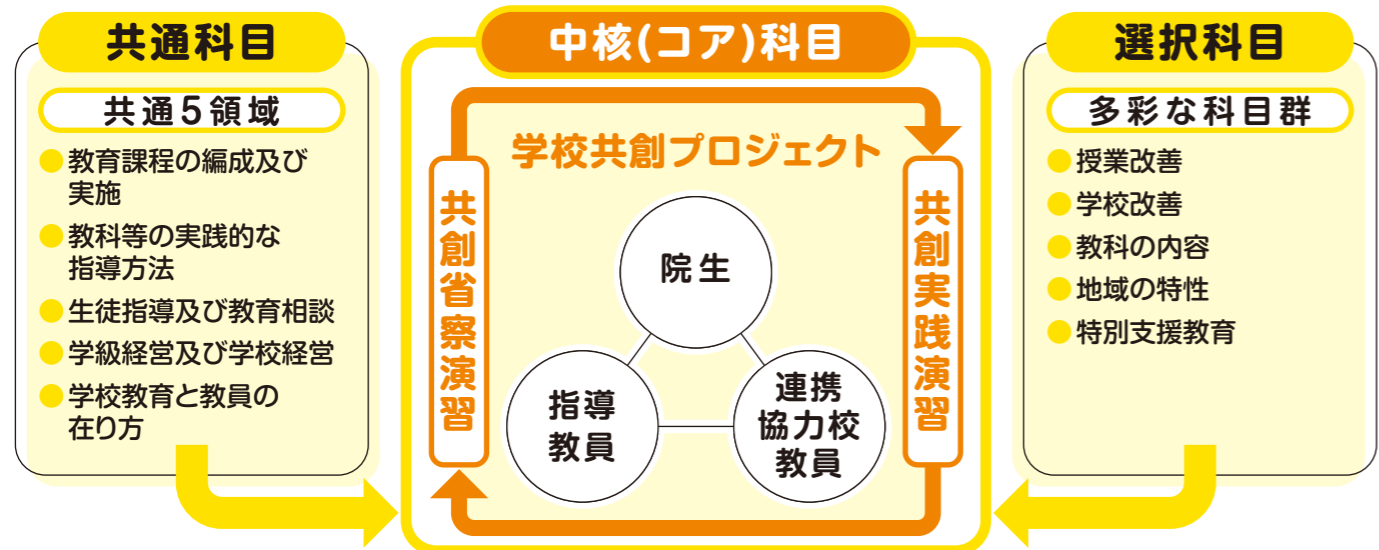
学校現場での実習や現職教員学生との協働により、教職に関する実践的な専門性や高度な実践力を身につけたい人。

特に入学者に 求めること

- 《 探究 》 学校・地域の教育課題をより広い視野で探究できる人
- 《 協働 》 より柔軟な発想で協働的に学び続けることができる人
- 《 創造 》 地域の教育の未来を創造することに強い思いを有している人

カリキュラムの特色

本教職大学院のカリキュラムは、実践と省察の往還による「中核(コア)科目」、基礎的・基本的な知識や技能を習得する「共通科目」、学習者の必要や興味に応じて習得する「選択科目」から構成されます。これらのカリキュラムを系統的に修めることによって「マネジメント能力」「課題発見・解決能力」「未来を拓く力」を獲得します。



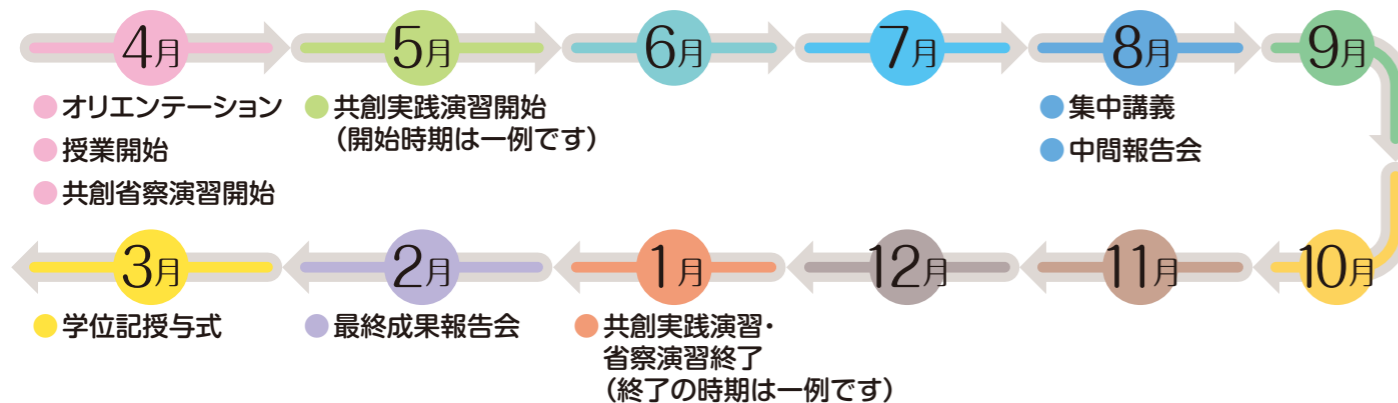
「共創省察演習」において大学院生の学修テーマを検討し、洗練させていきます。また、プロジェクトの進捗を確認し、共有します。

「共創実践演習」において連携協力校の授業を見学したり研修に参加したりします。また、連携協力校教員と協働することにより、学修テーマを探究していきます。

学校共創プロジェクト ～学校と大学が共創する教職大学院～

学校共創プロジェクトは、各学校の先生方が携わっている活動や課題など、各学校のめざす教育活動に大学院生と大学教員が寄り添ってともに学ぶことを理想としています。そのために、本大学院では「学校ビジョン」「教育目標」「特色ある教育」など、各学校が追及しているテーマと大学院生の学修テーマをマッチングします。そして、学修テーマに基づいたチーム(大学院生+指導教員+連携協力校)を編成することにより学校での実践研究を通じて成果と課題を共有し、学修成果報告書を作成していきます。

学修の流れ



指導体制

- 院生1名に対して指導教員1名・副指導教員1～2名が配置されます。
- 指導教員・副指導教員の配置に際しては、研究者教員・実務家教員のバランスが考慮されます。

担当教員の専門領域等の詳細については、[→ 本学ホームページをご覧ください。](#)

教員紹介



修了生の声 ～教職大学院での学びを振り返って～

この2年間大きな財産は、学びを通して得た「人との出会い」でした。先生方、同期生の仲間、研究を通じて知り合った方々などから多くの刺激と気づき通じて知り合った方々などから多くの刺激と気づき、勇気をいただきました。本来、学びは厳しいものでなければならぬと考えています。しかし、一人ではなかなかできないもの。背中を支え、時には押してくれた方々に感謝いたします。次は自分が子どもたちを支えなければいけないと思っています。

学校経営力開発コース
経営力開発分野修了

阪本 明士

現職教員学生として在籍
高等学校教諭



教育実践力開発コース
教科教育高度化分野修了

若林 徳亮

現職教員学生として在籍
小学校教諭



2年間は、正解のない問いを考える時間でした。ただ一つの正解を探すのではなく、仲間とともに一つの実践や一つの出来事に向き合うこと、その中で自分の枠を更新していくこと。実践のおもしろさと教育の奥深さを頭と心と身体で体験できました。同期の皆でそのような時間を過ごすことができたことが大きな財産です。これから大学院生でなくなっても続けていくことを課題としたいです。

私は「科学的に探究する力と態度を確実に育成する授業」について学びたいと考え進学しました。教職大学院で理論的な知識と学校現場での実践を融合させながら学ぶことにより、自身の「教育観」を様々な角度から見つめ直すことができました。この経験を積み重ねることにより、教師として教壇に立つ自信を持つことができました。ここで学んだことを活かして、これから現場での実践に励んでいきます。

学校経営力開発コース
学習開発分野修了

鈴木 理奈

学部新卒学生として在籍
2023年度より中学校教諭



教育実践力開発コース
特別支援教育分野修了

森井 集也

学部新卒学生として在籍
2023年度より特別支援学校教諭



教職大学院での2年を経て、より明るく、自然に子どもたちと関わるができるようになったと感じます。明るく、という点では子どもたちと日々関わりを重ねられたことが理由だと考えます。実習や、ボランティア等で現場に行く機会が多くあり、有意義な時間を過ごせました。また自然に、という点では子どもの反応が理論に則って整理できる場面が増えたことが理由だと考えます。来年度以降も、実践に関わりながら理論を学び続けていきます。



Q & A

多様な履修プログラム

本教職大学院は、教職をめざす多様な人材を受け入れ、高度な専門性をもった教員として輩出すべく、多様な履修プログラムを展開しています。詳細は、募集要項等をご覧ください。

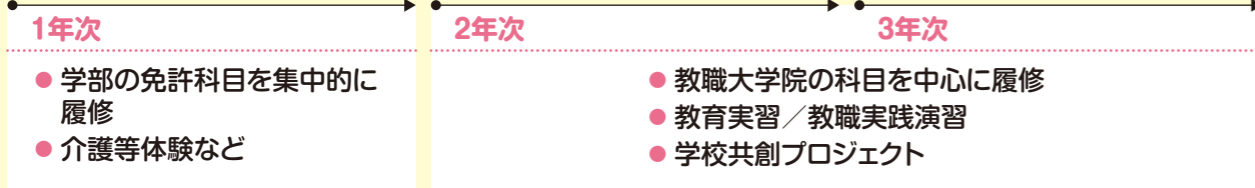
教職チャレンジプログラム

“3年間または4年間で教員免許状の取得をめざします”

対象 教員免許状を所有していないが教職に対して強い熱意がある方や現在所有している教員免許状とは別の教員免許状の取得をめざしている方が対象です。

趣旨 長期履修制度を利用し、教育学部と教職大学院の授業を段階的に学修することにより教員免許状を取得するとともに、教職大学院での学びにより高度な実践的指導力を身につけます。

●履修のスケジュールの例



附属学校教員進学プログラム

“附属学校園で働きながら教職大学院で学びます”

対象 三重大学教育学部附属学校園の教員が対象です。

趣旨 長期履修制度を利用し、勤務しながら附属学校園において学校共創プロジェクトを展開していきます。

●履修のスケジュールの例



Q 教職大学院はどのようなところですか？

A 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教諭として勤務し学校現場で実践経験を積んできた現職教員と学部から進学してきた学部新卒者等と同じ大学院生と一緒に学んでいます。本大学院では、現職教員と学部新卒者等と同じ授業を受講したり院生控室などで立場や年齢を超えて意見を交わしたりして、お互いを高めあっています。

Q 教職大学院はどのようなことをしますか？

A 大学院生は教育に関する学修テーマを持っていることが前提になります。入学後は、各大学院生が持っている学修テーマとさまざまな学校（連携協力校）が追及しているテーマをマッチングします。そして、指導教員のもとで学修テーマを洗練させていくとともに、連携協力校等において授業を見学したり研修に参加したりして連携協力校の教員とも協働し、実践研究をととして学修テーマの成果と課題を共有します。

Q 教職大学院に行くメリットは何ですか？

A 教職大学院を修了すると「教職修士（専門職）」の学位を取得できます。また、研究者としての大学教員、実務家としての大学教員、現職教員大学院生、学部新卒者等大学院生が同じ場に集い、意見を交換したり研究交流をしたりすることにより切磋琢磨し、幅広く密度の高い関係性が構築され、修了時には教員としてのネットワークを形成することができます。

現職教員の場合は、今までの自身の実践をじっくりと振り返ることにより新たな方向性を見つけることができます。また、現在の大学の授業や最新の研究活動から情報を収集することにより新たな視点を獲得することができます。

学部新卒者等の場合は、本大学院での学びや現職教員大学院生等との交流から将来、一層の自信を持って教職に就くことができます。もちろん、在学中は教員採用試験の準備にも十分取り組むことができます。また、三重県の教員採用試験合格者が本大学院入学者選抜試験にも合格した場合は2年間の採用猶予があります。

Q 入学前に「学修計画書」等の出願書類の指導をしてもらえますか？

A 出願書類の作成にあたって個別の指導は対応しておりません。出願書類等に質問がある場合は、裏表紙に記載されている「お問い合わせ先」にご連絡ください。

Q 院生の研究環境は整っていますか？

A 教職支援センター内に大学院生の控室があります。控室には1人1台デスクが用意され、大学院生全員が使用できます。大学院生たちは、ともに課題に取り組んだりディスカッションしたり、教員採用試験の対策等を行ったりして過ごしています。

Q 「現職教員」の定義は何ですか？（現職教員）

A 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等の教育現場で勤務する教員のほか、教育関係機関（教育委員会等）在籍者や教職等経験者も含まれます。詳細は学生募集要項をご参照ください。

Q 三重県外の学校に勤務している現職教員の受験は可能ですか？（現職教員）

A 受験は可能ですが、2年目の共創実践演習を勤務校で行えることが条件となります。それが不可能な場合は、学部新卒者等での受験となります。

Q 現職教員が受験するにあたって所属長の承諾は必要ですか？（現職教員）

A 必要です。学校の状況や方針等と関わるため、まずは所属長としっかり話し合ってください。また、三重県の派遣制度を利用する場合は、教育委員会の了承を得る必要があります。